

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

1. 従前から、地域ごとに根差した形で主体的に作り上げられた協議の場が数多く存在する。
2. 精神科在宅支援(アウトリーチ)事業により、病院・地域一体となった取組を行っている。

課題	課題の解決に向けた取組状況	取組の成果
体制整備や人材育成のさらなる推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各地で培ったノウハウを他地域へ横展開中。 ・各地域及び県単位での協議の場を継続中。(精神障害者地域移行推進検討会) ・各地域及び県単位での研修会や事例検討会等を継続中。 	<p><県></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会...地域ごとに明日から取り組めそうな具体的なアクションについて抽出することができた。 ・地域移行推進検討会...関係者間の情報共有、特にピアサポート活動についての取組について議論できた。 <p><各地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・備北地域...院内勉強会の開催等を通じ、意識向上に伴う病院内の取組が活性化された。 ・井笠地域...院内交流会の取組が自立支援協議会地域部会の地域移行・地域定着を考えるグループ」の活動に位置づけられた。 ・東備地域...精神科医療機関のない地域の取組として、誰もが住みよい東備地域について継続協議中。2月末に県との協働による研修会開催予定。 ・美作地域へ他地域の取り組みを紹介し、横展開の足掛かりを作ることができた。 <p>#上記すべてに地域体制整備コーディネーターと総合コーディネーターが参画。備北、東備地域にはコメンターも参画中。 #上記以外の地域でも研修会や事例検討会などを開催し、地域特性に応じた体制整備や人材育成の取組を進めている。</p>
地域特性に応じた取組が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域体制整備コーディネーター(保健所・支所に配置)が、県民局あるいは保健所・支所ごとに協議の場を設定し取組を進めている。 ・支援依頼のあった地域に対し、必要に応じてコメンター(各職能団体等から推薦を受けた関係者で構成する県設置の連絡会メンバー)を派遣し、精神保健福祉センターの総合コーディネーターとともに地域特性に応じた取組を進めている。 	

課題解決の達成度を測る指標	現状値(現時点)※	目標値(令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①人材育成研修会(による関係者の意識向上・地域で進める取組の具体策がわかる)	<ul style="list-style-type: none"> ・県研修1回開催 ・備中地域1回開催 	2回開催	県と地域毎の研修会あわせて4回実施の見込み。地域の課題に応じた研修会が実施できている。
②地域移行推進検討会開催(による各種情報の提供・共有)	1回開催	1回開催	1回実施。多領域の関係者が各種情報を共有することができた。
③地域の取組が進んだか(横展開)、依頼のあった地域でアクションプランの作成・実施・評価等ができたか。	4か所(支援地域)	3か所	<ul style="list-style-type: none"> ・備北、井笠、東備地域の3カ所で継続中。 ・新たに美作地域からの依頼に応じ、他地域の取組を紹介。同地域の今後の展開に向けての足掛かりを得た。